

びろっば

Vol.462 2025. 1

近森正幸 相談役 叙勲祝賀会 2024年 近森会グループ忘年会



近森正幸相談役叙勲祝賀会
兼 近森会グループ忘年会

表紙の写真

年頭所感

災害訓練

看護のお仕事相談カフェ

『海図のない海』で 生き残っていく

社会医療法人 近森会 理事長 入江 博之

はじめに

昨年4月に近森正幸前理事長(現 相談役)から理事長職を受け継ぎました。

その際に「前例のない少子高齢化の日本で、『海図のない海』に乗り出していくことになる。大変だと思いますが頑張ってください。」というお言葉をいただきました。ちょうどその時期に医療及び介護の診療報酬同時改定がありましたが、日本の経済状態を反映して医療及び介護業界にとっては大変厳しいものになりました。また、円安及び諸物価の高騰で光熱費、食費などが驚くほどのスピードで上昇し、病院収支悪化の原因となっています。さらに予想より早い就労人口の減少が顕著になっています。全国的に病院では職員、特に看護師不足が目立っているのが特徴です。このような状況下でも社会医療法人近森会は、高知県の地域医療を守る最後の砦として生き残っていく必要があります。

救急医療と高度医療で 生き残っていく

近森病院は高機能のER、手術室、集中治療部などを要する急性期中核病院として高度な医療を提供しています。

一方、医師の働き方改革をきっかけに多くの病院で夜間の救急患者を受け入れられなくなってきました。

その中で近森病院ERは中四国で常にトップ5に入る患者数を受け入れています。また、

手術件数は昨年よりも増加し、新しい手技を目的にご紹介いただく患者さんも増えています。今回、回復期の診療報酬改定で厳しい荒波を受けた近森リハビリテーション病院も、本院との連携を強くすることにより整形疾患の患者さんも積極的に受け入れ、そのダメージから徐々に回復しつつあります。また、近森オルソリハビリテーション病院はほとんどを地域包括ケア病棟に転換することにより、直接家に帰りにくい患者さん、また地域の訪問看護等で困っておられる患者さんを受け入れるクッション的な要素も加味して運営しております。

高知の人口密集地にある民間病院で、世界水準の医療を身近に感じていただけるよう研鑽を続け、生き残っていききたいと思います。

大災害でも生き残っていく

昨年正月にあった能登半島での大地震、また、よさこい祭り直前にあった日向灘を震源とする地震を受け南海トラフ地震注意報が発表され、高知でも大災害への備えが再注目されることとなりました。従来は食料等の備蓄は3日分あれば良いとされていましたが、7日分ある方が良いと言われるようになりました。近森会ではこのような大災害からも生き残ることを念頭に強化計画を開始しました。

老朽化した立体駐車場の代わりに6階建ての薬剤タワーを建設します。そこから北館と本館をブリッジでつなぎ一体化する予定です。2025年1月に工事を開始し、約1年で



完成の予定です。これにより薬剤を4階以上に安全に保管できます。さらに、北館の空きスペースを利用し7日分の食料等を備蓄することができ、災害拠点病院としての役割を果たせるものと考えます。また、このブリッジにより、雨や風の日でも患者さん、ご家族、また職員の本館～北館間の通行が確保され、今までよりも安全かつ便利に通行することができます。さらに北館を本館と一体化することで、急性期機能のさらなる向上が図られます。



就労人口減少でも 生き残っていく

ブリッジ完成後、薬剤部跡に加えて本館1階スペース全体を整備し、患者さんの相談、入院手続き、地域連携などを1カ所でできるワンストップセンター（仮称）を立ち上げ、病棟入院業務のさらなるサポートを行う予定です。従来仮設のままに十分な換気設備のなかった発熱外来も病院正面

玄関から移設し整備する予定です。

また、「医事会計電算センター」を設置し、会計処理などを迅速化してお待たせする時間を短くし、しかも専門スタッフ減少に備えます。昨年より、海外から看護助手を受け入れて看護・介護人員の確保にも努めています。

当院の入院患者さんの約半数は救急で来られた患者さんです。高齢の方も多く、そういった患者さんが直接ご自宅に帰れない場合、回復期リハビリや地域包括ケアといった法人内での受け入れはなかなか難しいものがあります。そのため、地域医療連携推進法人である「高知メディカルアライアンス」に参加いただける医療機関や、介護施設、訪問看護ステーションなどを増やし、スムーズな連携が図れるように構築していきたいと考えています。

最後に

2025年からは団塊の世代が75才以上、国民の5人に1人が後期高齢者になるという「超高齢社会」です。少子高齢化の急速な波を浴びる高知県で医療体制を崩壊させることなく、また予想される大災害からも生き残っていけるよう、近森会の強靱化計画を進めてまいりたいと思います。

災害訓練

令和6年度 大規模地震時 医療活動訓練

2024年9月27・28日

近森病院 救急科/
日本DMAT隊員

久 雅行 ひさ まさゆき



去る9月27日及び28日、内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練が行われ、我々DMATチームも参加してきましたので報告させていただきます。

政府訓練は毎年日本各地で行われる大規模なもので、今回は首都直下地震により埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県に甚大な被害が発生したという想定での訓練でした。

私とER看護師安田さん、危機管理部 楠瀬災害対策室長(現オルソ事務長代理)、施設設備課松木さんの4名は、羽田空港内での活動を行いました。活動内容は、空港内の参集拠点本部の立ち上げと、全国から参集するDMATチームの登録や派遣先調整がメインでした。井原部長もインストラクター側の指定プレイヤーと一緒に活動していたお陰で、特に大きな混乱やアクシデントはなく、羽田空港に参集した約100チームを各被災地へ派遣することができました。

大変だったのは、空港への移動は空路だったのですが、民間航空機に持ち込める資機材に制限があり、全て事前申告が必要だったことです。松木さんが全て手配してくれて無事積み込みできたのですが、(空路が使用可能であることが前提ですが)実際の災害時には混乱が生じる可能性が高いと感じました。また、用意されたスペースが通路の一角で、民間の旅行客に混じって物々しい格好をした連中が集う様子は少しシュールでした。



羽田空港 にて



資格取得

整形外科 専門医

近森病院 整形外科
赤木 俊亮
あかぎ しゅんすけ



日本門脈圧亢進症学会
技術暫定教育施設

施設認定

近森病院 にて

近森病院 災害対応訓練2024

2024年11月2日

南海トラフ地震臨時情報が 発令されたら

近森病院 放射線科 看護師 主任 坂本 明美
さかもと あけみ

2024年8月に南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発令され、心配された方も多かったと思います。今回は「巨大地震注意」でしたが、「巨大地震警戒」が発令された場合に皆様はどのような行動をとるかを決められていますか？

近森病院では、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」が発令された際（地震発生前）に院内ですべき事は何かを考える目的で11月2日に訓練を行いました。

各部門の管理者など総勢41名が3グループに分かれ、ディスカッションを行い、各部門・各職種からの視点で問題点や課題、平時から出来る準備は何かを明確化しました。訓練のテーマを「地震発生前」にすることは今回初めてであり、平時の病院機能と災害に備えた院内の対応を並行して行うことの難しさを痛感しました。

今回の訓練を第一歩とし、今後の災害訓練や病院BCP（事業継続計画）、法人BCPに組み込んでいく予定です。

※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、「注意」はM7.0以上、「警戒」はM8.0以上の地震が発生したと評価した場合となります。



看護のお仕事 相談カフェ

2024年11月17日

社会医療法人近森会 岡本 充子
統括看護部長 おかもと じゅんこ

お仕事相談カフェは、「新たな一歩、もう一度、看護の現場へ」をテーマとした、育児等の理由で仕事を離れている方、定年退職後も働きたいと思っている方などが対象の、気楽に美味しいスイーツを食べながら相談できるカフェです。当日の参加者は少なかったですが、その分一人の方とゆっくりお話をすることができ、参加して下さった方からは、細かなことまでいろいろと話が聞けた、多様な働き方を知ることができた、希望部署を見学できたなどのお声をいただきました。この相談カフェが、今回参加して下さった方たちが看護の現場に戻る後押しになってくれればと思います。

参加された方とお話をして、相談したいニーズがあることが分



かりましたので、定期的な開催を目指していきたいと思います。また、リスキリング（業務において必要なスキルを獲得する）研修の受け入れもしていますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

近森正幸相談役 叙勲祝賀会 兼 近森会グループ忘年会

2024年12月10日
ザ クラウンパレス
新阪急高知

この度、近森正幸相談役が秋の叙勲において「瑞宝小綬章」を受章する栄に浴しました。その祝賀会と、併せて近森会グループの忘年会が開催されました。忘年会は実に5年ぶり！職員はもちろん、日頃より近森会グループをご支援くださっているご来賓の皆様にもご参加いただき、400名を超える盛大な会となりました。忘年会では、今年度のMVP・敢闘賞表彰が行われ、スタッフの皆さんの一年の労をねぎらいました。

祝賀会



▲ 高知県医師会会長 高知病院院長 野並 誠二先生よりご祝辞をいただきました。

11月18日、東京都・ホテルニューオータニで行われた厚生労働省の叙勲伝達式での記念写真。



伝達式での勲記(※)の見たこともない渡し方や、参内した宮殿の素晴らしさ、天皇陛下に拝謁し感激したことなど、初めて聞く話に参加者も食い入るような目をして聞き入っていました。

※勲章を受章した際に授与される証書。



「瑞宝小綬章」を付けた近森相談役の等身大▶
パネルと記念写真を撮る参加者。



5年ぶり! 忘年会



▲フリーアナウンサー藤崎靖啓氏の司会で会場を盛り上げていただきました。
寺田管理部長による乾杯の挨拶。▶



入江理事長による開会の挨拶、5年ぶりの大忘年会の幕開けです!



近森相談役からのサプライズプレゼント、ドン ペリニヨン30本! じゃんけん争奪戦で大盛り上がり!



ドン ペリニヨンを勝ち取った幸運な30名の皆さん!



宴もたけなわ、川井副理事長による中締めでお開きとなりました。



今年もお疲れ様でした!

2024年度 近森会グループ MVP & 敢闘賞 受賞者

各院・各施設ごとに今年度最も優れた活躍をされたスタッフやグループが近森会グループMVPとして表彰されました。

また今年度から新たに敢闘賞が設けられ、MVPに匹敵する活躍をされたスタッフ、「近森イズム」を強く感じられる活躍をされたスタッフが表彰されました。

受賞者には、近森会、ファミリー高知のそれぞれの理事長より感謝の言葉と豪華副賞が贈られました。皆さん、受賞おめでとうございます。



MVP受賞者には記念のバッジが贈呈されました。



MVP



個人
受賞

近森病院 8A病棟 看護師
北川 知子

能登半島地震の際、どのような状況かもわからない中、応援ナースとして現地に赴き、恵寿総合病院で積極的に活動し、支援に尽力した。



個人
受賞

近森リハビリテーション病院
4階病棟 介護福祉士
中屋 吉博

介護専門学校との連携強化やオープンホスピタルの企画運営など、職員の就職につながる活動に尽力した。



患者
アンケート
上位

近森病院 理学療法士
吉田 彩人

「優しく話をしながら安心してトレーニングができた」「大変親身になって寄り添ってくださり励ましてくれて嬉しかった」



患者
アンケート
上位

近森病院 総合心療センター
メンタル4階 看護補助者
藤枝 真美

「細かい心の動きを察して元気をくれる方、看護師さんの代わりにテキパキと働いている姿がすごくかっこよかったです」「素晴らしい仕事ぶりです」



チーム
受賞

オルソ骨粗鬆症マネージャー
近森オルソリハビリテーション病院 看護師
平尾 香保・関 恵里・吉本 七瀬

骨粗鬆症マネージャーを取得し、骨コツ新聞の発行や学会等での活動報告から近森会を中心にした高知県下のネットワークを広げ、自律・自働的な取り組みで地域医療に貢献した。



チーム
受賞

社会福祉法人ファミリー高知
しごと・生活サポートセンターウェブ
就労継続支援B型事業スウェル

細川 孝行・井上 あゆみ・森脇 大輔

2009年から始めたクリーニング事業において、週6日稼働する忙しさの中でも、日々丁寧な作業で利用者さんの能力を伸ばす個別支援と環境設定を行った。近森病院への就職にもつなげ、事業所に大きな収益となって還元された。



ハート
センター

近森病院 医療福祉部
ソーシャルワーカー

岡田 葵

治療方針、リハビリ、食事、生活環境をすべて総合的に把握し、的確な退院先を選定し、急な転院や複雑な相談にも前向きな対応を行った。

発表!



※敢闘賞受賞者には、寺田管理部長が理事長の代理としてお渡ししました。



敢闘賞



近森病院RRT (院内迅速対応チーム)

夜間にも急変の早期発見や予防の対応ができる当直体制を導入し、患者ケアの質・安全性の向上に尽力。いつでも気軽に相談でき、患者さんの安定化に貢献した。



近森病院 ICU・救命救急病棟・ HCU 看護師



重症・救急患者さんの受け入れや対応をタイムリーに行い、他部署との連携を図りながら高い稼働率維持のために尽力した。

個人受賞

近森リハビリテーション病院 理学療法士 岩佐 恵子

健康増進活動やウィメンズヘルス対策についての研鑽を深め、妊産婦に対する動画コンテンツの作成、オンライン体操教室の開催など、女性職員の健康増進活動に尽力した。

個人受賞

近森リハビリテーション病院 4階病棟 看護師

上岡 冬哉

近森会組織にコミットメントした一緒に働こう!の意識を常に持ち、学会発表などで病院の活動をPRし職員の入職に貢献した。

社会福祉法人ファミリー高知 高知ハビリテーションセンター ブレースチェックラウンド委員会



チーム受賞

入所利用者さんを近森リハビリテーション病院のブレースクリニックにつなげ、通所利用者さんの補装具・日常生活用具の改善提案と修正を実施するなど、自己管理能力の向上につながる自立支援に尽力した。



≡ アメリカ東海岸の旅 ≡

米国は、毎年11月の第4木曜日はサンクスギビングデー(感謝祭)で祝日となります。そのため、この週は休暇を頂き、私の住むボルチモアから近隣の都市へ小旅行する計画を立てました。先週に学会で訪れていたワシントンD.C.も含めてご紹介したいと思います。東海岸の都市は南北に直線距離にして約300kmくらいの距離に分布しており、移動するには鉄道を使用するのがお勧めです。チケットはウェブサイト(<https://www.amtrak.com/home.html>)から比較的簡単に購入できます。

ニューヨーク

ニューヨークのPenn Stationで降車し、駅の階段を上るとすぐにマディソン・スクエア・ガーデンが目の前に現れます。そのまま7番街を北に向かうと10分ほどでタイムズスクエアが現れます。タイムズスクエアは大変な人混みで、東京の原宿をもっと大きくしたような規模ですが、様々なネオンに照らされた夜景は圧巻でした。ここからさらに北へ歩くとセントラルパークが見えてきます。広大な面積の中に無数の木々が生い茂り、敷地内には噴水、美術館、ジョン・レノンの記念碑など様々な見どころがあります。朝からたくさんの方がジョギングをしたり犬を連れて散歩したりしていました。もう一つのお勧めはミート・パッキング地区にあるチェルシーマーケットです。もとは精肉工場だった場所が改装され、中には数多くの大小のレストランやお店が軒を連ねています。私はニューヨークNo.1と呼ばれる有名なタコスのお店で本場メキシコの味を堪能しました。



チェルシーマーケット内の「ロスタコナンバーワン」の有名なタコス

フィラデルフィア

ニューヨークから南へ鉄道で1時間のところに位置するこの都市は、全米第6位の人口を誇る大都市で、アメリカ独立宣言が採択された“アメリカ誕生の地”でもあります。歴史的な古い町並みや、ロッキーの映画のシーンで有名なフィラデルフィア美術館もあります。昼食の時間は、町の中心地に位置し、全米最古かつ最大規模とされる屋内市場であるリーディング・ターミナル・マーケットを訪れました。ここでは何件かのお店で地元民のソウルフードである“フィリーズ・チーズステーキ”という薄切り牛肉とチーズがたくさん入ったサンドイッチを販売しています。どの店も行列ができており、シンプルな味付けで日本人でも食べやすいです。



リーディング・ターミナル・マーケット内のフィリーズ・チーズステーキのお店

ワシントンD.C.

ボルチモアから鉄道で30分南へ行くと、米国の首都であるワシントンD.C.に到着します。ニューヨークよりも落ち着いた印象で、町には公園やベーカリーカフェなどが多く見られます。見どころはホワイトハウスとその近隣にある美術館や博物館です。いずれも無料で入ることができるのがうれしい所です。バスや地下鉄で少し西へ向かうと、ポトマック川沿いにジョージタウン大学と周辺の良く整備されたショッピング街が広がっており、ゆっくりと過ごせます。



ポトマック川沿いのジョージタウンの町並み

募集職員中!

3,000とおりの誇れる仕事

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



募集職種

- 医師
- 言語聴覚士
- 看護師
- 薬剤師
- 介護福祉士
- 診療放射線技師
- 救急救命士
- 臨床検査技師
- 理学療法士
- 事務
- 作業療法士

「その人らしく生活するための支援」を目指して ～『つなぐ』役割を担っています～

近森リハビリテーション病院 地域連携室 シニア看護師長/
回復期リハビリテーション看護師

岡部 美枝 おかべ よしえ

回復期リハビリテーション病棟は、脳卒中や骨折、頸髄損傷などで、今までの生活が困難となった方に対して、「その人らしく生活するための支援」を多職種のチームで行う病棟です。

その支援は、急性期病院から当院への転院相談から始まります。急性期治療が終わり、リハビリ生活に移行できるよう『つなぐ』、そして入院生活を支え、生活の再構築を支援し、退院先の地域へつないでいくことが看護の役割です。「この先どうなっていくんだろう」「生活のイメージがつかない」と不安を抱える患者さん・ご家族の方に寄り添い、これからの人生をともに考えていくことができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

近森リハビリテーション病院 地域連携室は、急性期病院、回復期リハビリテーション病棟、外来を『つなぐ』役割を担っています。お気軽にご相談ください。

シリーズ
イメージキャラクター
モリンちゃん



栄養で支えるがん治療

近森病院 臨床栄養部

近森病院 臨床栄養部 管理栄養士 主任 田部 大樹 たべ だいき



がん治療と脂質の質

今回は脂質の質についてお話しします。

脂質の話をする、「肉やマーガリンの脂が良くないと聞かから避けている」と患者さんから聞くことがあります。これらは、「飽和脂肪酸」「トランス脂肪酸」と呼ばれる脂質が肉類やマーガリンなどの加工した油脂類に多く含まれているからだと思ひます。どちらの脂質も心疾患のリスクに関わるため、良くないイメージを持つ方が多いです。

飽和脂肪酸は前立腺がん、トランス脂肪酸は大腸がんの発症リスクを上げる可能性はありますが、がんの種類によって異なり、明確な影響は分かっていません。加えて、飽和脂肪酸は赤肉に多く含まれますが、日本人の平均的な摂取量であれば影響は少ないとされています。これはトランス脂肪酸も同様です。

肉類は豊富な栄養源を含むため、がん治療中には積極的に摂り入れたいことは前回もお伝えしました。マーガリンも温めたパンに塗ったり、スープに少し入れるだけでエネルギー量がUPしますし、バターよりも安価で日常的に摂り入れやすいです。特に痩せやすい、あるいは痩せている方で療養上の制限がないなら日常的に使用されても良いと思ひます。

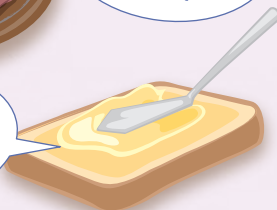
痩せている方にお勧め

肉やマーガリンの脂を適切に摂り入れることで、栄養UPが簡単にできます。



亜鉛・鉄・たんぱく質が豊富

エネルギー量UP



管理栄養士に相談してみましょう!

歳時記

少しでも華やいだ気分になっていただければ、毎年工夫しながら飾り付けています。

クリスマスツリー



Happy Xmas!



今後ともよろしくお願ひいたします

近森病院 放射線科 部長 細田 幸司 ほそだ こうじ

この度、放射線科部長を拝命いたしました。近森病院へ来てから10年以上経ちますが仕事内容と量は増える一方で、スタッフの皆さんのおかげで何とかやっている状態です。迅速で適切な診断/治療を心がけて診療していますが、これからは今まで以上に皆さんの協力が必要になりそうです。何卒よろしくお願ひいたします!



【出身大学】慶應義塾大学 2004年卒業

【主に担当する疾患・手技】

IVR(血管塞栓術、ドレナージなど)、画像診断全般

【認定資格】

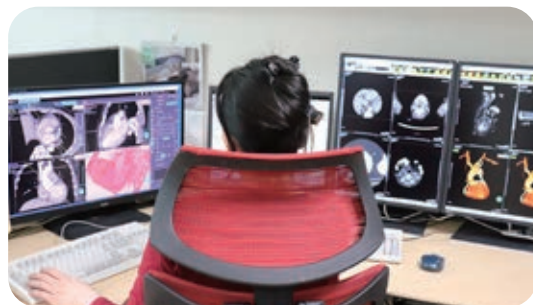
- 日本専門医機構認定・放射線科専門医
- 日本医学放射線学会・放射線診断専門医
- 日本医学放射線学会・研修指導者
- 日本インターベンショナルラジオロジー学会・IVR専門医
- 日本脳神経血管内治療学会・脳血栓回収療法実施医

部長昇格のご挨拶

近森病院 放射線科 部長 田所 導子 たどころ みちこ

No image

私はレジデント時代に大学で心臓CTを始め、近森病院も2006年の心臓CT開始当初から非常勤で実は長く在籍していたのですが、ほぼ読影室と検査室におりまして、あまり院内の皆さんに存在を知られていないかもしれません。最近はAIソフトウェアの安全精度管理責任者なども担当しております。GSI(dual energy CT)など新技術も浸透しつつありますので、まずは検査の前にご相談いただけましたら幸いです。



【出身大学】

高知医科大学(現高知大学) 2001年卒業、同大学院 2019年修了

【主に担当する疾患・手技】

画像診断全般

【認定資格】

- 医学博士(高知大学大学院・2019年)
- 日本専門医機構認定・放射線科専門医
- 日本医学放射線学会・放射線診断専門医
- 日本医学放射線学会・研修指導者
- 日本核医学会 PET核医学認定医

医師という仕事

近森病院 脳神経外科 部長 西本 陽央 にしもと よう

医師になり、近森病院に入職して20年が経ちました。生意気なだけで何もできないヒヨッコだった私を、根気強く指導してくださった数百人の先生方、医師としての仕事、人生を教えてくれた数千人の患者さん達に心から感謝しています。あと20年、与えられたものを少しでもお返しできるように、仕事します。



【出身大学】高知大学 2005年卒業

【主に担当する疾患・手技】脳卒中、未破裂脳動脈瘤、頭部外傷、顔面けいれん、三叉神経痛

【認定資格】

- 日本脳神経外科学会・脳神経外科専門医
- 日本脳神経外科学会・研修プログラム専門研修指導医
- 日本脳神経血管内治療学会・脳血管内治療専門医

- 日本脳卒中学会・脳卒中専門医・指導医
- 日本神経内視鏡学会・神経内視鏡技術認定医
- 日本脳卒中の外科学会・技術指導医
- 日本脳神経外傷学会・認定指導医
- 高知大学医学部臨床講師
- 日本救急医学会・ICLSディレクター
- 日本DMAT隊員

近森会グループで元気に働く仲間を紹介します

社会医療法人の一員として

総務部 総務課 課長代理 濱崎 太郎
はまさき たろう

この度、総務部総務課課長代理を拝命いたしました濱崎です。

前職は社会福祉法人にて、総務・外部全窓口取りまとめ・人事・利用者集客・関係医療機関等深耕活動と幅広くお仕事をさせていただいております。

県下有数の規模を誇る近森会に2024年11月より参画させていただき大変の引き締まる思いです。

入職後、未だ日の浅い身ではございますが、ご指導・ご支援賜ります様宜しくお願い申し上げます。



ハッスル研修医

日々勉強

初期研修医 1年目
竹倉 皓大 たけくら こうだい

研修開始から8ヶ月が経とうとしています。様々な診療科で新鮮な経験をさせていただき、あっという間の充実した日々を過ごすことができます。

近森病院はたくさんの方々からのご意見・ご指導をいただけることで、物事一つとっても様々な視点を得られる、恵まれた環境であると実感する毎日です。

忙しい中、時間を割いて指導にあたってくださる先生方や医療スタッフの方々への感謝の気持ちを忘

れずに、また、これからも

見たこと、学んだこと

を糧に成長し、自

分を育ててくだ

さった環境に将

来恩返しできる

よう日々努力して

いく所存です。



2024年度 職員旅行

日帰り 愛媛観光と 海鮮バーベキュー

2024年10月15日



TDR 2泊3日 2班 (2dayパス付)

2024年10月27~29日



飛騨高山1泊2日

2024年10月28・29日



伊勢神宮1泊2日 (松坂牛の昼食付)

2024年11月1・2日



がん患者さんの抗がん剤治療をサポートする漢方薬〈其の10〉



近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさば こういち

最終回

牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)

牛車腎気丸の薬能

- ◆地黄
- ◆山茱萸
- ◆山薬
- ◆沢瀉
- ◆茯苓
- ◆牡丹皮
- ◆桂皮
- ◆附子 → 0.5g → 1.0g
- ◆牛膝 ……鎮痛作用
- ◆車前子 ……利尿作用



八味地黄丸

今回も前回に続いてアンチエイジング漢方薬を紹介します。

牛車腎気丸は八味地黄丸の附子の量を2倍に増やし冷えに対する効果を高め、車前子を加えて夜間頻尿に対する効果を高めています。牛膝は鎮痛薬です。

単なるアンチエイジング漢方薬ではありません。痛みやしびれに対して緩和作用があります。がん患者さん以外では高齢者の腰痛や糖尿病患者さんの足のしびれに対して効果があり頻用されています。八味地黄丸に比べて附子の量が増えて車前子が入っているので、頻尿や浮腫に対する効果も高まっています。

八味地黄丸と違って牛車腎気丸は抗がん剤の副作用である足のしびれに効果があるのでよく処方されます。八味地黄丸と牛車腎気丸に含まれている地黄は身体を元気にさせる作用がありますが、胃腸障害の副作用があります。両剤服用中に食欲が低下した場合は、服用を中止するか、食欲改善作用のある六君子湯を併用して治療します。

今回で丁度10回目となり、がん患者さんを元気にする漢方薬の紹介が終わりましたので連載を終了させていただきます。ありがとうございました。



インドネシア人スタッフさん 高知見聞録



紅葉狩りに、中津溪谷県立公園へ！ 2024年11月24日

今年は例年より暑い日が続いたため、紅葉の見頃には少し早かったものの、爽やかな天候の中で森林浴を楽しむことができました。

お昼は尾崎看護部長のお宅で賑やかなおもてなしを頂き、インドネシアの皆さんに土佐の「おきゃく」を楽しんでもらいました。ちなみに、インドネシアでは紅葉狩りなどの季節ごとに植物を見に行く風習はないそうなので、日本文化を楽しんでいただけたのではないかと思います。

職員対象 院内・集団 歯科健診

2024年11月28日 近森会健康保険組合

48名 実施

仕事の合間に受けることができる、歯科健診を実施しました。虫歯や歯周病は全身の健康にも大きく関係していきます。この機会を逃した方も、歯科医院に行ってくださいれば無料で歯科健診を受けることができますので、ご希望の方は電子申請でお申し込みください。



16ページ「ぶらり旅」の問いの答え：④4時間。足場の悪いすべりやすい道なき道を歩きますので、山登りの装備をしっかりとって登ってください。

退職

ごあいさつ

近森病院 放射線科 部長 宮崎 延裕

みやざきのぶひろ

在職

1997.5.1~1998.4.30/
2001.10.1~2024.12.15/
2025.1~非常勤

近森病院の発展と 画像診断装置の急速な進歩

私の放射線科医としてのスタイルは、医師2年目の近森病院での研修で培われたと言っても過言ではありません。右も左もわからない若輩者を周囲は一人前扱いで、自分のおこなったことに対してダイレクトな反応が返ってくることに驚き戸惑いましたが、その中で、検査を依頼されることとはどういうことなのか、依頼医が必要な情報をどう提供するのか、患者さんのために自分はどうすべきなのかを学べたことは、その後大きく影響しました。また、IVR(画像下治療)という世界を知り、元々外科系は向いていないと思っていた自分が、気付けば画像ガイド下外科医となっており、何事もやってみないとわからないということも知ることができた1年でした。

2001年10月から再度近森病院に赴任し、以後23年間勤務して参りました。各セクションとの敷居が低いこともさることながら、放射線科医の業務に診療報酬の発生しなかった時代から、病院のインフラとしての放射線科医の重要性にとっても理解のある病院であったことが、長く勤められた理由だと思います。

40代半ばで先代より部長職を引き継ぎましたが、その頃から近森病院の発展と画像診断装置の急速な進歩に伴い業務が激増しました。同時期にちかもりよさこいのカメラマンもさせていただき、普段は接することのない他職種の方々と知り合えたことは、大きな心の支えとなりました。

息切れを感じつつも走り続けましたが、50代はCOVID-19のパンデミックではじまり、家族の大病も重なり、諸々考え、一旦急性期から大きく離れる決断となりました。

先日盛大な送別会も開催していただきましたが、各方面に充分なご挨拶もできぬままとなっており、紙面をお借りして、改めて関わった皆様に深く感謝申し上げます。



ひろっば1997年6月号
ニューフェイスより

▼2016年、よさこいを撮影する
宮崎部長



宮崎部長、長い間ありがとうございました

社会医療法人近森会 理事長
入江 博之 いるえ ひろゆき



宮崎先生は主に2001年から23年にわたり、当院放射線科医として長年当院の成長並びに診療の質向上に貢献してくださいました。単に画像診断をたくさんこなすのみならず、IVRCTや血管造影装置を用いて様々な血管の塞栓術あるいは再開通・拡張術等を先進的に手がけてられました。さらには大動脈ステントグラフトの指導医、そしてTAVI(大動脈弁カテーテル留置術)では放射線科医として世界唯一の実施医としても活躍してくださいました。前任の森田賢部長の病没により、2014年からは画像診断並びに血管内治療を第一線で率いてくださいました。放射線科医師のみならず、画像診断部の技師達の指導にも力を注いでくださいました。今回大病をされたご家族と共に過ごす時間を作りたいとのご希望があり、常勤としては退職されることとなりました。今後は非常勤として当院を支えてくださるとのことです。長年の貢献に深く感謝いたします。





リレーエッセイ

全部違って、全部良い!

近森リハビリテーション病院 6階病棟 看護師
吉川 歩 よしかわ あゆみ



私は元々パワーストーンが好きで、よくお店などを覗いていました。「キレイだな」と思うものの、お店に飾られている石はそれ相応の値段がついており、なかなか買うには至りませんでした。

そんな時、『廃棄宝石』というものを知りました。キレイに磨かれた石があるということは、失敗して販売が出来なくなった石があるということ。傷や不純物があったり、色味が規定に届いていないという理由で廃棄される宝石を少しずつ集めた結果、たくさんの石と出会い、生産地などの豆知識も増えました。宝石としては落第かもしれませんが、家でひっそりと光を当ててキラキラとした輝きを楽しむ分には何の問題もありません。それどころか、それぞれの個性を愉しむという楽しみ方も出来ます。「最近疲れているな」と思った時には引き出しを開けてキラキラを眺め、リフレッシュをしています。



私の趣味

インドアな私、時々アウトドア

社会福祉法人ファミリー高知
法人本部

坂井 知也 さかい ともや



もともとインドア派で、家の中でゴロゴロしながら映画を見ることが好きな私ですが、時々アウトドア熱が上がり釣りやキャンプなど自然と戯れたいくなります。

釣りは、海で餌木と呼ばれるルアーを使ってイカを釣るエギング、青物を釣るジギング、防波堤でサビキ釣りや投げ釣りなど時期によって釣れる魚に合わせて釣りに出かけます。釣りの醍醐味は釣れた時の引き…なんでしょうけど、波の音や水平線など自然に癒されることにもあると思います。



また、家族の影響もありキャンプをするのですが、夜、焚火の炎を見ながらお酒を飲むことが好きです。燃え上がる炎と薪のパチパチという音にどんどん惹き込まれ、お酒にもどんどん飲まれていきます…が、癒されます。自然の癒しは、1/fゆらぎというものだそうでリラックス効果があるそうです。



FREE

私の○○

まるまる

○○にフリーワードを入れて語っていただきました

私の「リフレッシュ術」

近森オルソリハビリテーション病院
リハビリテーション部 理学療法士
大原 達矢 おおはら たつや



私の趣味はウォーキングです。時間が少しでも空けば、靴紐をキュッと締めて歩きに行きます。季節毎に移り変わる風景や空気を楽しみながら歩くことで、心身共にリフレッシュができます。普段は車で通り過ぎるだけの道も実際に歩いてみると、小さな店や趣のある建物など思いがけない発見があります。

さらに、私はノルディックウォーキングも取り入れています。ノルディックウォーキングは2本のポールを使用した全身運動です。体幹や上半身を効果的に使うことで歩行運動の効率が上がり、心と体の健康維持に非常に役立ちます。



私自身、導入してから腰痛や頭痛が改善し、体調が良くなるだけでなくダイエットにも成功しました。これからも季節の移ろいを感じつつ、新しい発見を楽しみながら歩き続けたいと思います。

最後にノルディックウォーキングはインストラクター資格を取得していますので、ご興味がある方は、是非お声をおかけください。



長年の夢であった
長岩城跡を訪ねて

飯塚病院でのVHJ研究会職員交流会の翌日、ぶらりと
やばけい
 耶馬溪の山中にある、400年にわたり豪族 野仲氏の居城
 であった長岩城に登ってきた。天正16年(1588年)黒田長政
 の大軍に攻め落とされ廃城になったが、険しい山城であった
 ことが幸いして当時の遺構がよく残っている。城は断崖絶壁
 の要害を巧みに取り入れ、せきりい石塁やぼうざ砲座、ざんごう塹壕、やぐら石積み櫓
 など、独創的にして唯一無二の山城になっている。

ちなみに駐車場から一之城戸、二之城戸、三之城戸を経て陣屋跡から石積み櫓、
 さらには東之台から本丸、西之台を経て駐車場に帰るまでいったい何時間かかった
 でしょうか? (①1時間 ②2時間 ③3時間 ④4時間 ⑤5時間) (答えは13ページの下)



▲二之城戸の石
 塁、なべもと谷
 の沢の左右を
 守っている。



石積み櫓には陣屋跡から長い
 梯子を登り、



両側が断崖絶壁の狭い尾根
 筋を歩いて、



日本で唯一、3カ所の銃眼(※)
 を有する石積み櫓に到着。

※銃眼…城壁や軍用車両などの内部から弓矢や銃を構えて射撃するために備え付けられた小さな窓。



本丸

東之台から本丸まで続く最も長大な石
 塁。扁平な鉄平石状の石材を用いた石塁
 は20カ所、700mにおよんでいる。

看護学校通信

3年間の思いを込めた成果発表会

2024年11月29日

近森病院附属看護学校 教務主任
 上総 満高 かずさ みつたか



11月22日に3年間の集大成である「看護の統合と実践II」の臨地
 実習が終了しました。翌週にはこれまでの実習を振り返り、将来
 目指す看護師像や今後の課題について成果発表会を行いました。
 発表会には、近森病院や近森リハビリテーション病院の師長・実習
 指導者の皆様にも参加していただきました。

学生たちは、実習を通して多職種と関わり、患者さんとふれあうこと
 で、自分たちがチームの一員としての役割を担っていることを自覚し、
 改めて自分の看護観に向き合えたと思います。

最後に、実習でご協力いただきました患者様や地域の皆様、施設・
 指導者の皆様に感謝申し上げます。

編集室通信

気象庁によると、今年の冬はラニーニャ現象の影響で、暖冬だった昨年より平年並みの
 寒さとのこと。早くも朝夕の気温が下がり始め、バイク通勤の際は厚手の手袋を着用して
 も指先が凍えるようになってきました。これから本格的な冬を迎えるにあたり、通勤時の防
 寒対策を万全にしたいと思う今日この頃です。みなさまもどうぞ自愛ください。熊五郎

診療数 2024年11月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数 16,155人
 新入院患者数 1,083人
 退院患者数 1,060人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.62日
 地域医療支援病院 紹介率 105.61%
 地域医療支援病院 逆紹介率 326.35%
 救急車搬入件数 538件
 うち入院件数 312件
 手術件数 604件
 うち手術室実施 379件
 うち全身麻酔件数 277件

平田 翼

Tsubasa Hirata

近森リハビリテーション病院
3階病棟 介護福祉士 主任

聞き手／ひろっぱ編集部

軽やかなユーモアで
病棟と日常を
照らして



のれん 暖簾に腕押し

どんな話にもさらさらと受け答え、気さくさを感じる。しかし取材冒頭はどこか掴みどころがないため、そのことを伝えると「簡単には掴ませませんよ」とニヤリ。「まじめに自分の話をするのが苦手です…」と弁明された。

専門学校時代、近森会グループに以前あった老人保健施設「いごっばち」で実習。その時の施設長さんに声をかけられて近森病院へ就職した。そこから20年を迎え、現在は近森リハビリテーション病院（以下、リハ病院）の介護福祉士、主任の立場から、たくさんの患者さんをケアしスタッフからの信頼を集めている。

病院の介護福祉士を20年

「20年目になりましたね。いつまで続けようかと…。これもルポに書いちゃってください（笑）」と爆弾宣言にひやっとしたが、きっと、いつも言っている節がある。

「患者さんによりますが、僕、よく茶々を入れるんです。茶々入れるために働いています」とさらにジョークを飛ばす。そんな中でも「長く働いていられるのは、リハ病院の雰囲気が良いからです。何かを始める場合も皆が協力しあってスムーズに進むし、他職種の方も介護福祉士を尊重してくれるので。僕は人に恵まれています」と話し始めた。

「リハ病院の介護福祉士の良いところは、患者さんが良くなっていく姿を見守れること。意識障害があって入院された方が歩けるようになって退院していく姿を見る時が一番嬉しいです」。

病院の介護福祉士の専門性について、

同僚と何度となく話し合いを持つ。「大切なのは中心に患者さんがいるということ。僕たちもチームアプローチの一員です」と誇りを持っていることを伝えてくれた。

休日は家族とまったり

プライベートでは3人の父。思春期まっさかりの高1長男と中2長女からは、あまり相手にされないと嘆く。小3の次男は、出産時の低酸素脳症が原因で重度の脳性まひがある。「長男も長女も、次男をとてかわいがってくれます。憎まれ口をたたかし、質問しても『あ〜』としか答えないけど、頼りにしています」と大らかに見守る。

休日は、長女の部活の応援のほかは家で過ごすことが多いという。次男はマスクをつけることができず、風邪をもらうと誤嚥性肺炎の心配もあるので外出が難しいのだ。

「高知県は障がいのある子どもが行ける場所が少なく。安心して遊べる環境が整っていれば良いですね」と。家族としての切実な願いだろう。

『おなかのボタン』

「突然ですが、保育士の妻は絵が得意なんです」と、妻作のLINEスタンプを見せてくれた。平田主任のシュールな似顔絵スタンプで、夫婦の仲の良さが伝わる。



次男9歳の誕生日。バナナの被り物が家にあるところに、平田主任の人物が窺える。

『おなかのボタン』（定価1,650円（税込））は金高堂、蔦屋書店、Amazonなどで2025年1月から販売予定。



「妻が今度、絵本デビューするんです」と嬉しそうに続ける（取材は2024年11月）。絵本のタイトルは『おなかのボタン』。次男が胃ろうをつけた体験から描いた作品。「同じ境遇の親御さんやお世話になっている先生たちにも見てもらいたい」とリハ病院の和田院長に相談したところ、県内の出版社を紹介してもらったのだという。当初は自主出版の予定が、出版社から本格的な発売が決まった。

命あればこそ

実はこの取材の8ヶ月前、平田主任は体調を崩し近森病院で入院生活を送った。当時は「なぜ自分が…」と落ち込んだが、回復した今は「このくらいで済んで良かった」と思えるようになった。とはいえ、日常生活を送るには不自由はないが、重たいものを持ったリ、ハードな運動は避けているという。

生きていれば辛いこともある。我慢しないといけなこともある。しかし嘆いてばかりでは問題は解決しない。どこかにおもしろいことを見つけて楽しむことが大切なだろう。職場でも、入院生活の大変さがかかるからこそ、おどけ役を買って場を和ませているのかもしれない。

自分のことを話すのが大の苦手な平田主任が、この取材を受けた理由も和田院長へのお礼と妻の絵本を宣伝するため。いつもふざけているように見せかけて、実は誠実で優しくサポート役に徹している平田主任らしい選択である。

